

2019 参院選

性的少数者に関わる政策課題についてのアンケート・回答
社会民主党・全国比例区候補者・矢野あつ子



2019 年 7 月 13 日

レインボーなごや 事務局・酒井さま
社会民主党

比例代表候補 矢野あつ子

性的少数者に関わる政策課題についてのアンケートの回答

1. 自治体の性的少数者調査について

●賛成。調査拡大すべき

●意見

個人のプライバシーに十分配慮することが大前提ですが、幅広い調査を行い現状を正しく認識することが性的少数者の方々への的確な政策立案の第一歩になると考えます。

2. 同性婚について

●同性同士での婚姻：賛成

●内縁関係を同性同士でも認める：賛成

意見

多様な性の在り方を尊重する社会制度づくりは非常に重要です。社民党は今回の参院選の選挙公約で、同性婚を実現するための婚姻平等の法整備や、2018年に改正された相続に関する民法の規定が事実婚や同性パートナーを対象外としている点を早急に再改正することなどを明記しています。

3. 現職議員の無理解発言について

現職の国会議員が性的少数者の方々への差別的な言動をするなど断じて許されず、当該議員には当事者に謝罪するとともに議員辞職を強く求めます。職業選択・雇用や公営住宅・高齢者施設への入所など、性的指向や性自認を理由としたあらゆる形の差別的取り扱いを禁じる法律を早急に制定するとともに、教育現場での啓発など偏見解消への確で実効性のある税金の使い方をするべきです。